

どーらく 改題 逆説土楽たより

断捨離考

8月号(NO35)通巻 185号

2021年8月10日(火)発行(毎月10日)

【農暦】菜園は日々の管理が大事は承知しているのだが！

○暑さにコロナ感染拡大のニュースに鬱陶しさが深まるばかりである。それに歯痛では気力は上がらない。今一つである。コロナステイホームのズボラな生活が続いている。オリンピックのテレビ観戦で終日過ごす日もある。政府のコロナ対策の模範的な生活スタイルである。鬱陶しい気分は飽和しそうである。だが、トップアスリートの頑張る姿に小さな拍手をしている。川柳“金の数支持率アップ皮算用”を詠みながら、複雑なものがある。アスリートの汗、涙には偽りはない。

○男子200mのUSAの金メダル候補のノア・ライルズ*1は、いじめ、BLM(ブラック・ライヴズ・マター)で抗うつ剤に頼ったことがあったと、4日朝日の記事に、大阪なおみのこともある。アスリートの涙にはパワハラ、いじめ、差別も含まれていることを忘れてはならない。メダルの数を競うだけのものではない。自戒を込めて観戦を楽しんでいる。

○コロナ拡大は止まらない、中等症は自宅療養にと政府要請が3日に出された。医療崩壊が始まっている？。怖い。うつさない、うつらないのために、ワクチン接種をした。少しでも身体を動かそうと庭の手入れをする。庭のトマトは出来が良い。今朝、トマト1個を収穫した。1本のトマトから7個目だ。また実が付いている。処女地がいいというがこれ程とは思わなかった。

○こんな状況にあり、笠間を14日も不在にしている。草が、トマトが、茄子がどうなっているか、心配になる。菜園は日々の管理が大事は承知しているのだが、この暑さに、歯痛では致し仕方がない。

○半月ぶり、まずは草刈り2日目に草刈り機が動かない、整備しやっと始められた。なかなかうまくいかないが、草刈りで少し景色は変わった。良い菜園は先になるが、薩摩芋、カボチャなどの収穫を楽しみにしてる。(了)

【楽農】 <畑>草刈りと草取り。黒豆・小豆の間引き、移植、ブルーベリー、胡瓜、隠元、茄子、ピーマン、トマト、じゃが芋の収穫。・草払機1台不調、2台目途中整備。

【楽市】 イベントなど；笠間ふれあい大学講座(17日)詩吟例会(22日)川柳の会(5日)笠吟連(8日) *1、金メダルと0.12秒差で銅メダルに。



<トマト・庭で>28日撮影



<長屋門カフェで喫茶>30日撮影*

【つぶやき=Tweet】人生は感動にありという！平成、令和は泣かなくなった。

○ノーベル物理学賞を受賞した益川敏英さんが23日に亡くなられた。81歳だった。素粒子物理学の分野で、宇宙誕生の謎を解明する先駆的な理論を提唱し、2008年のノーベル物理学賞を受賞した。受賞講演で不謹慎だとの声があったが戦争体験を話したという。「九条科学者の会」の呼びかけ人にもなっていた。研究室に閉じこもってはいけなさと同僚たちをデモに誘った（天声人語1日）。学術会議へ批判が政治家から飛び出す今の社会を案じられておられたという。



＜樗：関東に群生＞30日撮影＊

○科学者関連になるが、元会社の「管理者ノート」1990、6に＊2、ミスター半導体（ノーベル賞を貰い損ねたとも）と言われた東北大学の西沢潤一教授のことが書かれていた。「今の男の大多数は権力志向になり、

金力志向になってしまった」と憂いて居られてたという。学的に世界的業績を残されただけでなく、学徳を慕ってその膝下に参集し、その門下から多くの俊秀が輩出したという。

○「明治の人はよく泣いた」と司馬遼太郎はいったと。確かに司馬作品に登場する明治の青年たちは激しく議論の末に、感情が激しくよく泣く。感動性に富んでいたと。今“青天を衝け”をNHKでやっているが、ありそうだ。人生は感動にありという。

○「管理者ノート」は「感動性」の見出しで書かれたものだが、結びに、“書経に「人を玩（もてあそ）べば徳を喪い、物を玩べば志を喪う」と、ソロバンを弾くと感動性ばかりでなく、志まで失ってしまう。「昭和、平成の人は泣かなくなった」と言われなければ幸せである。”とある。平成、令和は泣かなくなった。



＜書院；家屋の美と快＞30日撮影＊

“徳を喪い、志を喪った” 村度蔓延の社会では、泣くのは被災やいじめの涙にだけのようなのだ。

○「感動性」にはKのサインがある。元会社のK氏は東北大学の俊秀のひとりかも知れない。当時はまだ、そんな人達が多くいたように感じる。管理者ノートの書き手にはソロバンだけではない人がいたように思う。＊2元会社の管理者向けの社内誌で片付け中に

○オリンピック開催に6割以上の方が不安を感じると世論調査で答えている。モヤモヤしたものがあるが、ステイホームでは、テレビ観戦になる。川柳で“アスリートメダルを超える涙あり”を詠んだ。泣けない時代の今、“泣く人”はアスリートだけかも知れない。その涙の深いものに、気付きたい。(了)

＊写真は百年名家朝日放映の柏の旧吉田家住宅。

○断捨離考：気力上がらず停滞、資料整理少し

【後記】暑いとコロナで気力上がらず！

【HP；kogure農場に転載】

発行者；小暮虎雄

住所；笠間市本戸4201-10

携帯電話；090-9333-4135

HP；kogure農場

メール；torao-k@nifty.com